



序 章

松阪市観光振興ビジョンの策定について

1 ビジョン策定の趣旨

本市では、歴史・文化や食、自然など豊富な観光資源をもとに観光振興を図り、地域の活性化につなげていくことを目的に、2014（H26）年10月、2018（H30）年3月に観光振興政策の基本方針などを明らかにする「松阪市観光振興ビジョン」を策定しました。

この期間中には、旅行者の利便性や回遊性を高めるための拠点施設として「豪商のまち松阪観光交流センター」などのハード整備と合わせて、様々な観光プロモーションに取り組み、観光誘客の促進を図ることで一定の成果を挙げてきました。

2020（R2）年になり新型コロナウイルス感染症が流行拡大したことで、私たちの社会に深刻な影響を与え、特に観光業は甚大な被害を受けています。その対応として、感染症防止対策を進めながら、観光業の早期回復を目指す様々な取り組みが必要となります。観光を取り巻く環境は、コロナ禍により厳しい状況ですが、人口減少を迎える社会の中で、地域経済に観光が果たす役割への期待は依然として高く、持続可能な経済に貢献していくことが、今後さらに求められます。また、ICT*の進歩により観光情報の収集・発信の手段として、多くの旅行者がスマートフォンを利用するようになってきていることから、デジタルマーケティング*の必要性が増すなど、観光を取り巻く環境の変化にも著しいものがあります。

これらのことを踏まえ、今年度、松阪市総合計画が改訂されるのに合わせて、本市の観光を持続的に発展させるために進むべき道標として、新たに「松阪市観光振興ビジョン」を策定します。

ICT「Information and Communication Technology（情報通信技術）」

通信技術を利用した産業やサービスなどの総称。

デジタルマーケティング Web サイト、ソーシャルメディア（SNS）、動画など、様々なデジタルコンテンツを活用した市場活動。

2 計画の性格

このビジョンは、上位計画である松阪市総合計画で描かれた10年後の将来像「ここに住んで良かった…みんな大好き松阪市」の政策「活力ある産業」、施策「観光・交流の振興」に位置づく計画です。

また、市が取り組む観光振興に関する政策の方向性を明らかにする計画で、市はもとより市民、観光事業者、観光関係団体など、それぞれが観光振興を担う主体として共通の認識を持ち、今後の松阪市が目指すべき観光の姿と、その実現に向けた指針となるものです。

3 計画期間

このビジョンは、概ね10年先を見据えつつ、2021（R3）年度～2024（R6）年度にかけて4か年の計画とします。

4 新型コロナウイルス感染症の流行とビジョンの策定

このビジョンは、アフターコロナを見据えて策定しています。また、新型コロナウイルス感染症の流行状況によっては、基本戦略などの見直し、未来像の実現に向けた指標の再設定などを行う場合があります。